

7月市長定例記者会見

日時：平成30年7月11日(水)午前9時30分～／場所：庁議室

1 開会

2 市長話題提供

- ① 平成30年度市民意識調査等の結果 【企画政策課】資料1-1
- ② 東日本大震災被災地復興視察報告 【危機管理課】資料1-2
- ③ 北海道豊頃町との互産互消推進に関する協定書締結 【農林課】資料1-3

3 報告事項

- ① 小中高生対象「ステンドグラス体験講座」新設 【文化振興課】資料2-1

4 主な行事について

- ① 協働によるまちづくり地区集会 【生涯学習協働推進課】資料3-1
と き：7月23日(月)～11月22日(木)まで(全32回)
ところ：市内32会場(掛川区域 22、大東区域 6、大須賀区域 4)
- ② 地元建築士会「ジモトノシゴト展」 【図書館】資料3-2
と き：7月24日(火)～8月 5日(日) 午前9時～午後5時 中央図書館
ところ 8月 8日(水)～8月19日(日) 午前9時～午後5時 大東図書館
9月 5日(水)～9月16日(日) 午前9時～午後5時 大須賀図書館
- ③ 輝くかけがわ応援大使 人間国宝 大角幸枝先生に学ぶ 【文化振興課】資料3-3
と き：7月26日(木) 午後1時30分～4時
ところ：中小学校(図工室)
- ④ 夏休み親子医学講座「自分の細胞を見てみましょう」 【社会教育課】資料3-4
と き：7月28日(土) 午後1時30分～3時
ところ：東京女子医科大学大東キャンパス
- ⑤ 第29回掛川遠州灘”砂の祭典”ビーチフェスタ2018in掛川 【観光交流課】資料3-5
と き：7月29日(日) 午前8時30分～午後3時30分
ところ：ビーチスポーツ公園周辺(大東温泉シートピア東側)

⑥ 中東遠総合医療センター開院5周年記念式典・講演会 【地域医療推進課】資料3-6
と き：8月4日(土) 午前9時30分～午後0時30分
ところ：中東遠総合医療センター 3階大会議室

⑦ 掛川納涼まつり 【観光交流課】
と き：8月4日(土)・5日(日) 両日午後6時～8時45分
ところ：掛川駅中心市街地

⑧ かけがわ中学生議会 【学校教育課】資料3-7
と き：8月9日(木) 午後1時30分～4時30分
ところ：掛川市議会議場(市役所6階西側)

⑨ 第3回「はばたけ未来の吉岡彌生賞」研究作品募集 【社会教育課】資料3-8
募集期間：7月2日(月)～9月28日(金)

5 議会日程

全員協議会 7月20日(金) 午前9時～

6 質疑応答(進行：幹事社 テレビ静岡・朝日新聞)

7 閉 会

次回市長定例記者会見 8月7日(火) 午前9時30分～ 庁議室

平成30年度市民意識調査等の結果 住みやすいと思う市民の割合 75.1%

市内初・中東遠初・県西部初・県内初・全国初・珍しい

【目的・概要】

平成30年度市民意識調査及び高校生意識調査の集計結果の概要について報告します。

平成28年度からスタートした「第2次掛川市総合計画」の推進にあたり、掛川市民が掛川市の現状をどう感じているか、また、掛川市の様々な施策について、何に満足し何が不満なのかを把握し、更なる市民サービスの向上と着実な行政運営に繋げるため、アンケート調査を実施しました。

また、高校生の進路に対する意識や理想の家族像などに関する意識を把握し、喫緊の課題である人口減少、特に若者の人口流出に関する施策や若者の流出抑制及びU・I・Jターンに関する施策などを推進するため、高校生を対象とした意識調査を実施しました。

【アピールポイント】

- ・掛川市が住みやすいと思う市民の割合 75.1%（前年比 4.9 ポイントの減少）
- ・浜岡原子力発電所の今後について
「廃炉」もしくは「停止」と回答した割合 52.5%（前年比 0.4 ポイントの減少）
- ・ワークショップへの参加に興味がある高校生 16.3%（148人）

1 調査対象

市民意識調査：市内在住の18歳以上の市民の中から2,500人を抽出

高校生意識調査：市内の高等学校に在席する3年生の男女 930人

2 調査期間と調査方法

(1) 調査期間 市民意識調査：平成30年4月27日～平成30年6月7日

高校生意識調査：平成30年6月

(2) 調査方法 市民意識調査：郵送により発送・回収

高校生意識調査：直接配布・回収

3 資料の添付 有・無（資料名：「市民意識調査報告書」「高校生意識調査報告書」）

■本件に関する担当者

企画政策課 地域創生戦略室経営戦略係 深田・藤川

（電話 0537-21-1127）

あなたの夢、
描いたつづきは
掛川で。

I 市民意識調査の結果

1 回収状況

1, 173枚回収（回収率 46.9%）

	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度
配布数	2,500通	2,500通	2,500通	2,500通	2,500通
回収数	1,078通	1,348通	1,198通	1,135通	1,173通
回収率	43.1%	53.9%	47.9%	45.4%	46.9%

【年代別の回収状況】

	配布数（通）	構成比（%）	回収数（通）	回収率（%）
18歳以上20歳未満	88	3.4	31	35.2
20歳代	402	16.1	121	30.1
30歳代	402	16.1	161	40.0
40歳代	402	16.1	154	38.3
50歳代	402	16.1	194	48.3
60歳代	402	16.1	248	61.7
70歳代以上	402	16.1	263	65.4
無回答	0	0	1	-
計	2,500	100.0	1,173	46.9

2 結果概要 ※詳細は、別冊「市民意識調査報告書」をご覧ください。

(1) 掛川市の住みやすさについて（報告書：6ページ）

①住みやすさの割合

掛川市が住みやすいと思う市民の割合は75.1%で、前年と比べて4.9ポイントの減少となりました。中学校区別では、掛川区域が70%～80%台、大東・大須賀区域では50～60%台となり、南部地域において、住みやすさを実感していない方の割合が多い結果となっています。

【参考：平成17年度以降の経年変化】

(%)

H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30
65.1	78.1	74.3	79.6	79.7	81.8	83.9	80.8	83.8	81.3	76.4	80.7	80.0	75.1

【中学校区別住みやすさの割合】

(%)

	東	西	栄川	北	原野谷	桜が丘	大浜	城東	大須賀
30年度	83.5	83.3	75.0	85.0	70.0	77.4	60.3	63.8	54.3
29年度	86.2	85.3	72.8	86.4	83.3	86.1	67.4	60.6	59.1
前年比	△2.7	△2.0	2.2	△1.4	△13.3	△8.7	△7.1	3.2	△4.8

②住みやすさの理由

住みやすさの理由としては、「気候が温暖」が63.1%と最も多く、次いで「新幹線の駅や高速道路のインターチェンジなど広域交通のアクセスの便がよい」が61.1%という結果でした（3つ以内で回答、上位3項目を記載）。

「とても住みやすい」「どちらかといえば住みやすい」と回答した人・・・881人

選 択 肢	件数	比率
1. 気候が温暖だから	556件	63.1%
2. 新幹線の駅や高速道路のインターチェンジなど広域交通のアクセスの便がよい	538件	61.1%
3. 自然が豊か	492件	55.8%

③住みにくさの理由

住みにくさの理由としては、「地域内のバス路線などの公共交通網が整備されていない」が56.1%で最も多く、次いで「買い物場所やレクリエーション施設が充実していない」が45.1%、「広域交通のアクセスの便がよくない」が42.0%という結果でした（3つ以内で回答、上位3項目を記載）。

「とても住みにくい」「どちらかといえば住みにくい」と回答した人・・・264人

選 択 肢	件数	比率
1. 地域内のバス路線などの公共交通網が整備されていない	148件	56.1%
2. 買い物場所やレクリエーション施設が充実していない	119件	45.1%
3. 広域交通のアクセスの便がよくない	111件	42.0%

(2) 浜岡原子力発電所の今後について（報告書：10ページ）

浜岡原子力発電所の今後については、「廃炉にした方がよい」が40.9%で、前年と比べて2.2ポイントの減少となりましたが、「停止しておいた方がよい」の11.6%と合わせると52.5%が「廃炉」もしくは「停止」と回答しています。

依然として、浜岡原子力発電所に対する不安の高さが表われています。

【参考：平成25年度以降の経年変化】

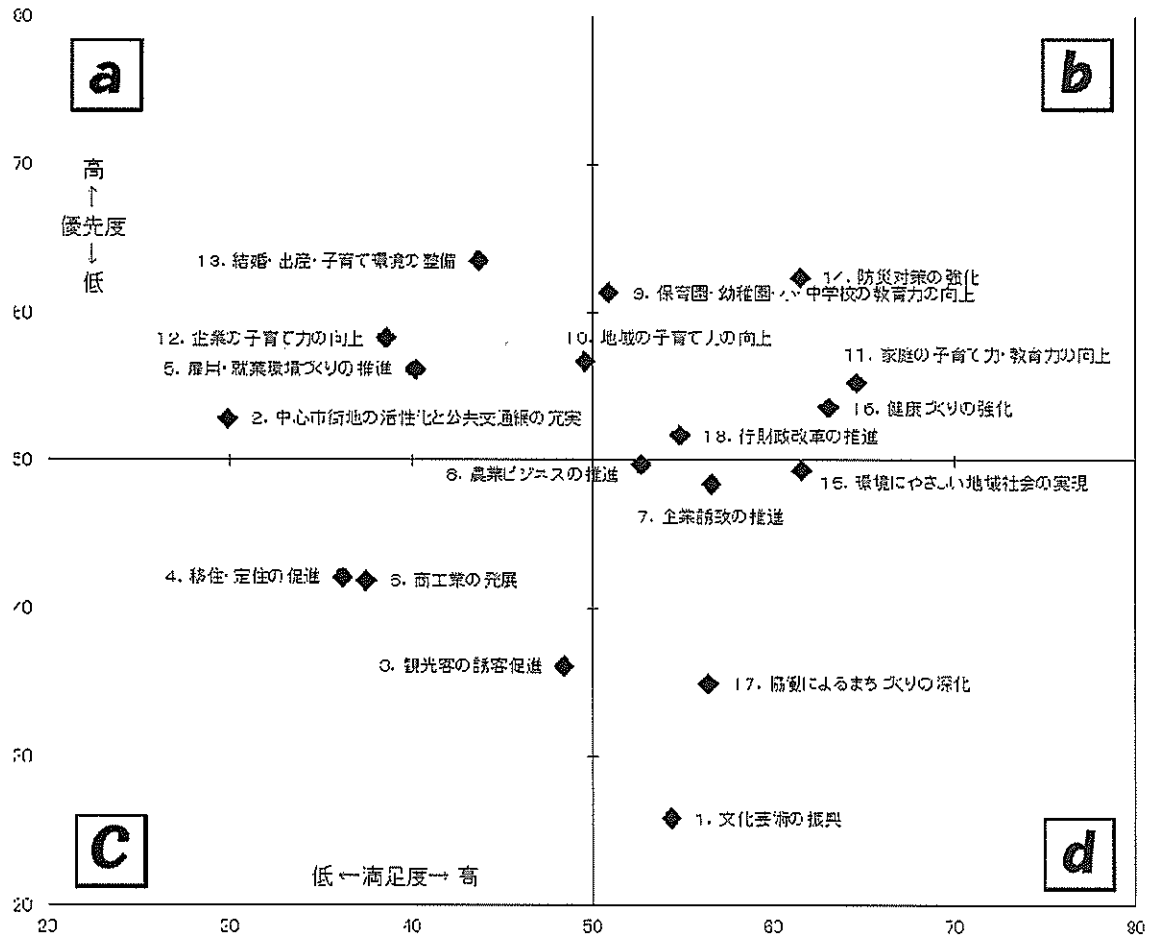
(%)

項 目	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度
廃炉した方がよい	42.8	43.6	41.5	41.7	43.1	40.9
停止しておいた方がよい	16.9	14.0	12.2	14.4	9.8	11.6
安全が確認できれば稼働	24.0	22.6	23.5	23.9	24.8	24.7
どちらともいえない	12.5	15.2	16.3	13.6	15.2	14.7
わからない	3.2	3.4	5.1	5.2	5.5	7.3
無回答	0.6	1.1	1.4	1.3	1.7	0.8

(3) ポートフォリオ分析によるプロジェクトの市民ニーズ（報告書：30 ページ）

ポートフォリオ分析とは、第2次総合計画基本計画に定めた18のプロジェクトの満足度と優先度を点数化し、縦軸に優先度、横軸に満足度をとってグラフ化することで、各プロジェクトの分布状態から、効果的な選択に活用しようとするものです。座標の原点は、満足度と優先度の平均値としています。

ポートフォリオ分析表



① 満足度は低く優先度が高いプロジェクト：aゾーン

現在、市民に必要とされながらも、事業がまだ不十分と考えられるもので、優先的に重点を置くべきプロジェクトといえます。

- ・ 2 中心市街地の活性化と公共交通網の充実
- ・ 5 雇用・就業環境づくりの推進
- ・ 10 地域の子育て力の向上
- ・ 12 企業の子育て力の向上
- ・ 13 結婚・出産・子育て環境の整備

② 満足度・優先度ともに高いプロジェクト：bゾーン

現在も一定の水準の事業を行っていますが、市民のニーズも高いため、引き続き重点を置いていくべきプロジェクトといえます。

- ・ 9 保育園・幼稚園・小・中学校の教育力の向上
- ・ 11 家庭の子育て力・教育力の向上
- ・ 14 防災対策の強化
- ・ 16 健康づくりの強化
- ・ 18 行財政改革の推進

【満足度・優先度のランキング（上位5位）】

順位	満足度	優先度
1位	11 家庭の子育て力・教育力の向上	13 結婚・出産・子育て環境の整備
2位	16 健康づくりの強化	14 防災対策の強化
3位	14 防災対策の強化	9 保育園・幼稚園・小・中学校の教育力の向上
4位	15 環境にやさしい地域社会の実現	12 企業の子育て力の向上
5位	17 協働によるまちづくりの深化	10 地域の子育て力の向上

Ⅱ 高校生意識調査の結果

1 回収状況

910枚回収（回収率 97.8%）

		人数	構成比
市内在住	男性	268	29.5%
	女性	181	19.9%
	無回答	5	0.5%
市外在住	男性	270	29.7%
	女性	181	19.9%
	無回答	2	0.2%
無回答		3	0.3%
計		910	100.0%

2 結果概要 ※ 詳細は、別冊「高校生意識調査報告書」をご覧ください。

(1) 高校卒業後の進路について（報告書8ページ）

高校卒業後の進路に関して調査したところ、「県外の大学・専門学校等へ進学したい」が39.8%でもっとも多い結果でした。また、全体の65.8%（H29年72.7%）が進学を希望しています。

あわせて、進学後の進路に関しても調査したところ、「県外で就職したい」が41.7%（H29年40.6%）、「掛川市以外の県内で就職したい」が39.6%（H29年44.5%）、「掛川市内で就職したい」が16.0%（H29年12.4%）となりました。

全体として、「掛川市内で就職したい」は18.1%（H29年15.3%）となっています。掛川市以外での就職を希望した理由については、「都会で働きたい」「掛川市に自分が就きたいと思う仕事がない」「出身市町で働きたい」が7割以上を占めていました。

【高校卒業後の進路】

	回答数	構成比
1. 県内の大学・専門学校等へ進学したい	237	26.0%
2. 県外の大学・専門学校等へ進学したい	362	39.8%
3. 掛川市内に就職したい	69	7.6%
4. 出身市町・今住んでいる市町 （掛川市以外）に就職したい	69	7.6%
5. 掛川市以外の県内に就職したい	56	6.2%
6. 県外で就職したい	16	1.8%
7. まだ考えていない・特に決まっていない	30	3.3%
無回答	71	7.8%
計	910	100.0%

【進学後の進路】

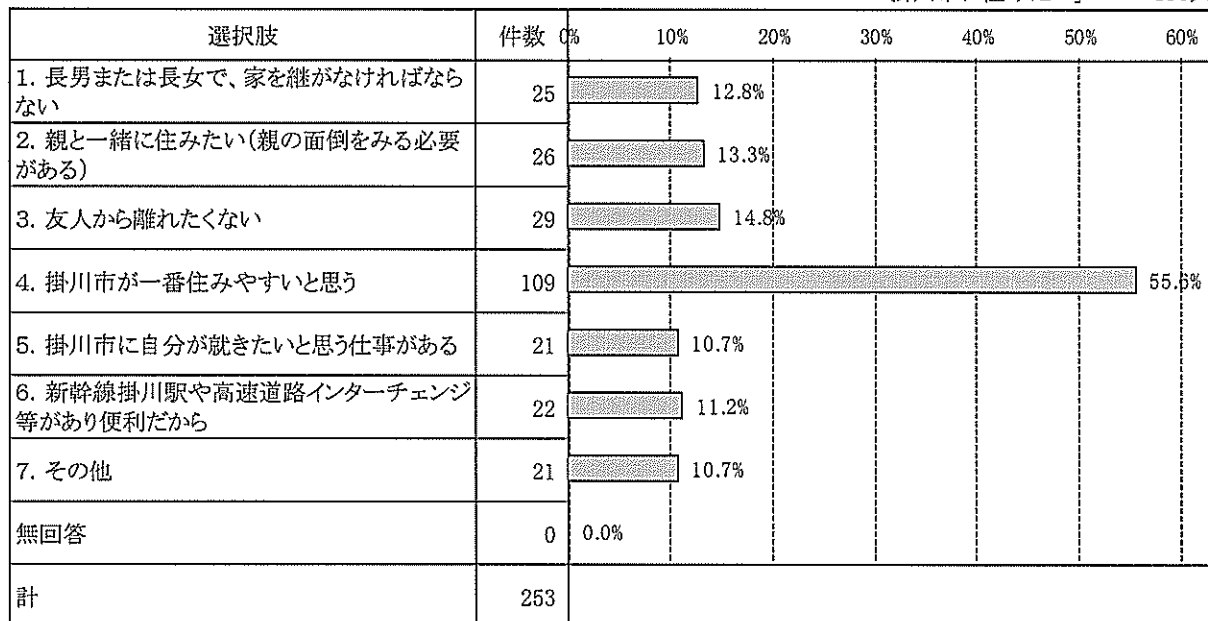
	回答数	構成比
1. 掛川市で就職したい	96	16.0%
2. 出身市町・今住んでいる市町 （掛川市以外）に就職したい	88	14.7%
3. 掛川市以外の県内で就職したい	149	24.9%
4. 県外で就職したい	250	41.7%
5. 外国で就職したい	12	2.0%
無回答	4	0.7%
計	599	100.0%

(2) 掛川市に住みたい理由について (報告書 13 ページ)

掛川市に住みたいと回答した人は 196 人 (21.5%) で、複数回答の選択肢のうち「掛川市が一番住みやすいと思う」が 55.6% と最も多く、次いで「友人から離れたくない」が 14.8%、「親と一緒に住みたい (親の面倒をみる必要がある)」が 13.3% でした。

【掛川市に住みたい理由】

「掛川市に住みたい」・・・ 196人



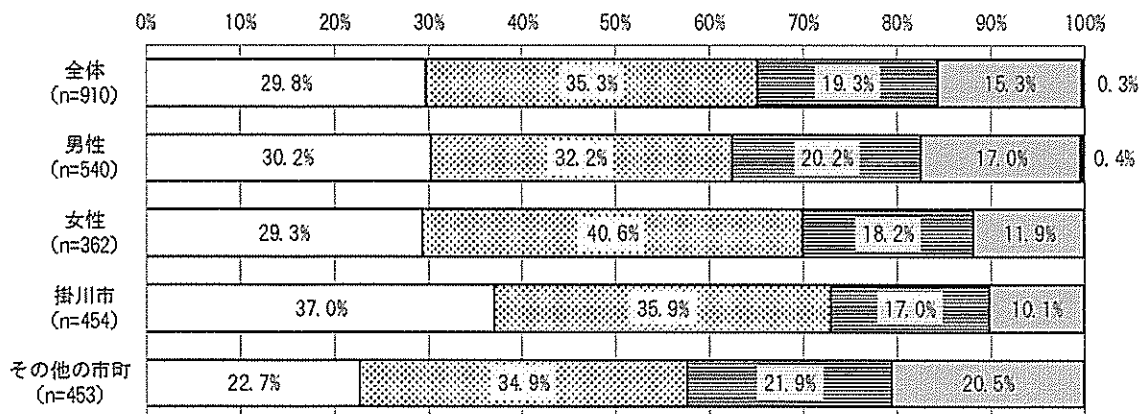
複数回答

(3) 地域の行事や活動への参加について (報告書 6 ページ)

地域の行事や活動については、参加している (29.8%)、どちらかといえば参加している (35.3%) を合わせると、65.1% が参加しています。

性別で見ると、参加率は男性が 62.4%、女性は 69.9% で、女性のほうが 7.5 ポイント高くなっています。また、居住地別で見ると、掛川市在住では 72.9%、その他の市町在住では 57.6% で、掛川市在住のほうが 15.3 ポイント高くなっています。

【地域活動について】



□参加している □どちらかといえば参加している
 ■どちらかといえば参加していない □参加していない
 ■無回答

(4) ワークショップへの参加について（報告書6ページ）

高校生を対象とするワークショップへの参加については、興味がある(3.3%)、どちらかといえば興味がある(13.0%)を合わせると、16.3%が興味があるとの回答でした。

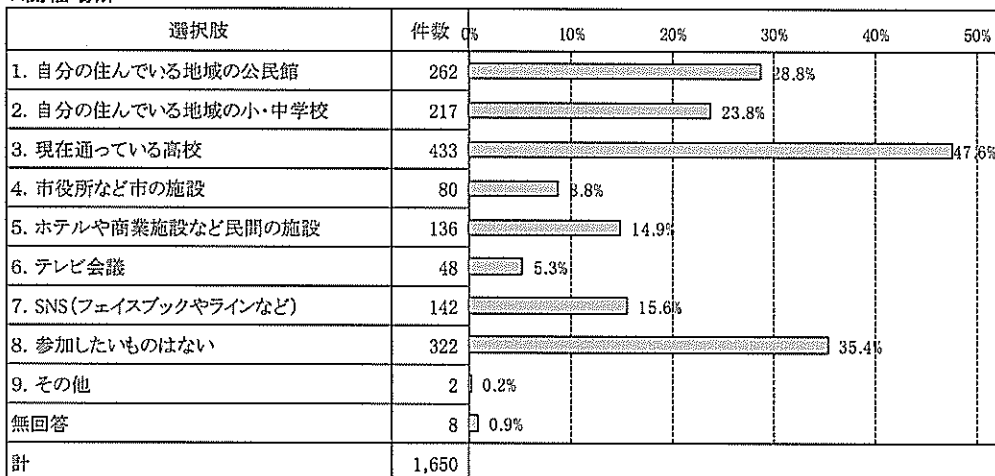
開催場所については、「現在通っている高校」が47.6%でもっとも多く、次いで「自分の住んでいる地域の公民館」28.8%、「自分の住んでいる地域の小・中学校」23.8%の順となりました。

参加者については、「現在通っている高校の生徒」が37.7%でもっとも多く、次いで「自分の住んでいる地域の同世代」35.6%、「他の高校の生徒」23.5%の順となりました。

【ワークショップへの参加について】

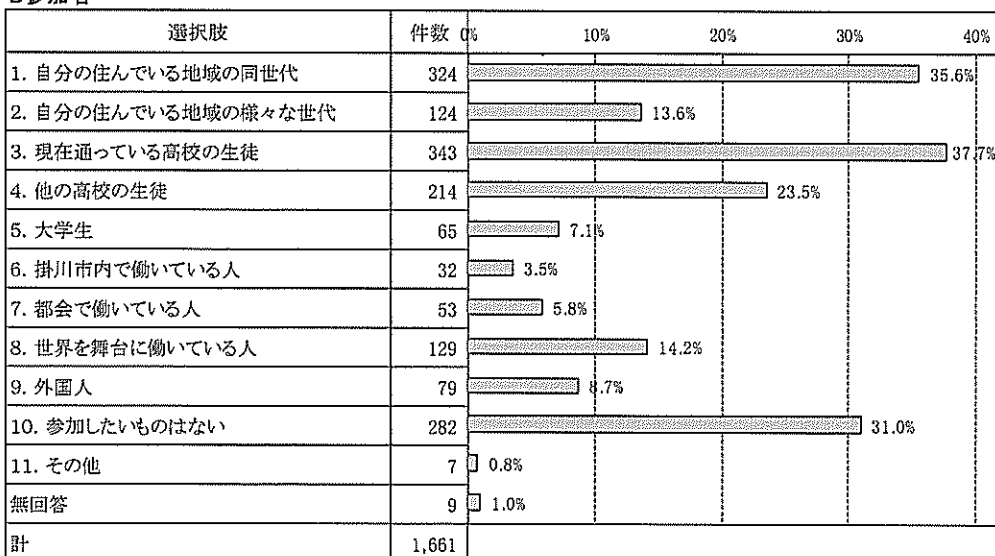
	回答数	構成比
1. 興味がある	30	3.3%
2. どちらかといえば興味がある	118	13.0%
3. どちらかといえば興味がない	230	25.3%
4. 興味がない	418	46.0%
5. わからない	108	11.9%
無回答	5	0.6%
計	909	100.0%

A開催場所



複数回答

B参加者



複数回答

(5) 理想の家族像について (報告書 13 ページ)

結婚については、「はい」が 84.1%と高い割合ですが、平成 27 年度 (89.8%) と比べると 5.7 ポイントの減少となりました。子どもについても、「欲しい」が 80.8%と高い割合ですが、平成 27 年度 (88.3%) と比べると 7.5 ポイントの減少となりました。

欲しい子どもの人数は、「2人」が 71.3%でもっとも多く、次いで「3人」が 18.0%、「1人」が 7.2%の順となりました。平成 27 年度と比べると、子どもの人数が 2 人以下を望む割合が高くなっています。

理想の家族像としては、「自分たち夫婦と子どもの世帯で、自分または相手の親とは離れて住む」が 49.0%と約半数を占めました。次いで「自分たち夫婦と子どもの世帯で、自分または相手の親の近くに住む」が 25.7%で、二世代の核家族を理想とする意見が 8 割近くを占めました。平成 27 年度と比べると、「一人暮らし」が 4.9 ポイント、「自分たち夫婦の二人暮らし」が 1.7 ポイントの増加と、結婚や子どもを望まない割合が微増となっています。

【将来結婚したいか】

	回答数	構成比	H27構成比	前回比
1. はい	765	84.1%	89.8%	△5.7%
2. いいえ	137	15.1%	9.5%	5.6%
無回答	8	0.9%	0.7%	0.2%
計	910	100.0%	100.0%	

【将来子どもがほしいか】

	回答数	構成比	H27構成比	前回比
1. 欲しい	735	80.8%	88.3%	△7.5%
2. 欲しくない	161	17.7%	10.2%	7.5%
無回答	14	1.5%	1.5%	0.0%
計	910	100.0%	100.0%	

【ほしいと思う子どもの人数】

	回答数	構成比	H27構成比	前回比
1. 1人	53	7.2%	5.5%	1.7%
2. 2人	524	71.3%	69.3%	2.0%
3. 3人	132	18.0%	21.5%	△3.5%
4. 4人	4	0.5%	1.4%	△0.9%
5. 5人以上	9	1.2%	1.2%	0.0%
無回答	13	1.8%	1.2%	0.6%
計	735	100.0%	100.0%	

【理想とする家族の形態】

	回答数	構成比	H27構成比	前回比
1. 一人暮らし	121	13.3%	8.4%	4.9%
2. 自分たち夫婦の二人暮らし	53	5.8%	4.1%	1.7%
3. 自分たち夫婦と子どもの世帯で、自分または相手の親とは離れて住む	446	49.0%	52.2%	△3.2%
4. 自分たち夫婦と子どもの世帯で、自分または相手の親の近くに住む	234	25.7%	28.7%	△3.0%
5. 自分または相手の親、自分たち夫婦、子どもの三世代で同居する	34	3.7%	4.3%	△0.6%
6. その他	11	1.2%	4.2%	△3.0%
無回答	11	1.2%	1.1%	0.1%
計	910	100%	100%	

Press Release

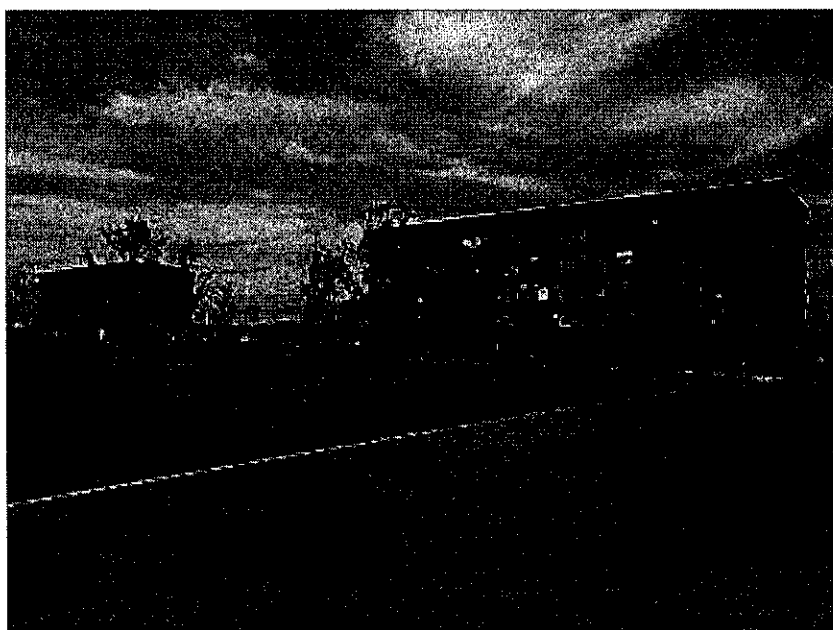
提供日 2018年7月11日

解禁日 なし

担当課 危機管理課

掛川市 記者会見資料 No.1-2

東日本大震災被災地復興視察報告書



宮城県石巻市新蛇田地区の復興公営住宅

平成30年6月28日(木)～6月30日(土) 3日間

- ・岩手県 陸前高田市
- ・宮城県 石巻市・東松島市・名取市

掛川市

- 1 目的 本市の防災対策や復興対策に役立てるため、被災地の復興状況を視察する。
- 2 日程 平成30年6月28日(木)～6月30日(土) 3日間
- 3 視察先 1日目(岩手県) 陸前高田市
2日目(宮城県) 石巻市・東松山市・名取市
3日目(福島県) 東京電力福島第一原子力発電所
- 4 視察者 松井市長、
市長政策室(戸塚室長)、
都市建設部(廣岡室長、西村係長)、
危機管理課(浦野課長、戸塚係長)
合計 6名

5 市長所感

6月28日から30日までの3日間、3年ぶりに東日本大震災の被災地に、7年を経過した復興状況の視察に行き参りました。

最初に、市町村により、考え方や目指す姿が異なり、復興の速度が大きく違っていることが目立ちました。災害公営住宅の建設と応急仮設住宅からの移転については、被災者個々の生活再建が進んでいることが解りました。

しかし、陸前高田市や名取市では、嵩上げが終わり保留地の販売や店舗の建設など始まったばかりで、ハード整備が終わった後に、町に人が戻るか心配な状況も見受けられました。

石巻市では、震災前から市役所を、駅前から撤退した大型商業施設に移すなど、コンパクトなまちづくりを進めており、震災後に、市立病院、包括支援センター、防災センターなど、駅前市街地への集約を進めていました。50年後、100年後を見据えて、平常時から、被災後の復興まちづくりのイメージを持って準備しておくことの必要を感じました。

原子力災害については、福島第一原子力発電所の状況を視察いたしました。未だに原子炉建屋の直近では、まだまだ空間放射線量は高く、五感に全く感じずメーターだけが上がる状況や復興には長い時間が掛かることを目の当たりにして、原発事故は絶対に起こしてはならないと改めて強く実感したところです。

今回の視察の経験を、災害時の緊急対策や原子力災害広域避難計画の修正に加え、いち早い復興に向けた準備に活かしてまいりたいと考えております。

6 視察内容

平成30年年6月28日(木)

◆岩手県 陸前高田市

①陸前高田市長

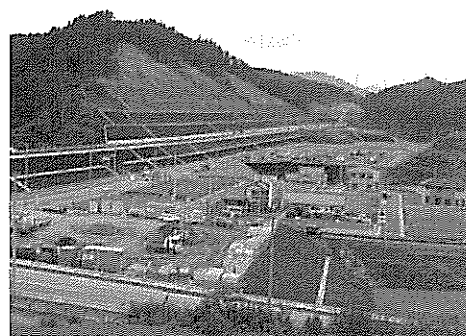
震災後、嵩上げをしているが、海沿いは地盤が低いので企業は大きな投資はしたがない。

嵩上げには、ベルトコンベアーで土砂を運んで転圧をかけた。区画整理事業において工事を進めると、地権者との関係など様々な問題が起きる。

陸前高田市は海に近く低い場所は、利用価値が下がったが、周辺の大船渡市や気仙沼市、釜石市は、海の前に住宅を建てている。災害公営住宅も港付近に建設している。陸前高田市では海近くに宅地を造成すると反対が出る。市民が敏感となった。他の市では、防潮堤もいらないなどという意見があり地域によって考えが違う。防潮堤は十分である高さに+αの3m、4mに上げないと市民が安心、納得しない。市民の理解と協力が必要。この町の100年後の原型を作っている。



陸前高田市内・嵩上げの状況



建設中の三陸沿岸道路

②応急仮設住宅集約の状況について

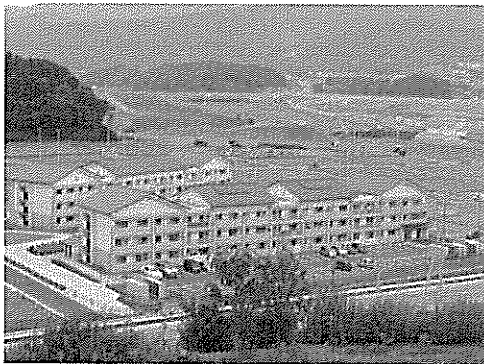
- ・ 震災後直ちに(3月18日)起工式を行った。約1ヶ月後の4月8日には第1期分の入居を開始した。
- ・ 8月までに2148戸(建設型の応急仮設住宅)を県が建設した。建設場所の選定や入退去などの管理は市が担当している。
- ・ 平成24年1月までに最大2139世帯・5635人が入居した。現在でも339世帯・818人が応急仮設住宅に入居している。
- ・ 平成27年に集約化に向けた住宅再建意向調査を実施し、その結果を基に応急仮設住宅の撤去、集約化を行っている。
- ・ 平成28年5月 応急仮設住宅最終意向調査を実施した。
- ・ 現在は、20団地の解体が終了し31団地が存在している。このうち現在9団地を解体中である。
- ・ 平成30年度4月に特定延長の制度が導入されたが、公的な事業の遅れなどがある場合、住宅再建する場所がない等以外は応急仮設住宅に入居できないこととなって

いるため、入居者が減った。

- ・ 来年度は、83世帯だけが特定延長の該当者になり、その方々以外は仮設住宅に入居できない。32年度は13世帯、33世帯は6世帯となる。
- ・ ここまでの災害は想定していなかったため、仮設住宅の建設場所などの計画はしていなかった。急遽、3月18日に、学校のグラウンドに仮設住宅を着工した。(150世帯)
- ・ 応急仮設住宅は、プレハブ協会、ハウスメーカー、リース会社メーカーによって仕様が様々であり、入居者は部屋数が多い仮設住宅への入居希望が多い。

③集団高台移転と震災復興計画について

- ・ 防災集団移転促進事業と土地区画整理事業で高台の住宅地の整備を進めている
- ・ 高田地区という高台区画(区画1～7)の進捗状況は、区画3・5・7の宅地を引き渡し完了し、平成30年度は高台6の宅地を引き渡し予定。
- ・ 今泉地区という高台区画(区画1～7)の進捗状況は、区画4・5・6・7の宅地引き渡し、平成30年度は高台区画2・3の一部が完成予定。
- ・ 旧市街地の復興状況は、嵩上げ部の中心部に商業施設が完成し市立図書館も併設している。また周辺では、商業施設、公共施設も建設中でまちづくりの整備を進めている。
- ・ 震災復興計画は、平成30年度までを計画しているが、31年度以降は、まちづくり総合計画に位置づけて現在策定を進めている復興計画を進め、全ての事業完了は32年度末を目標としている。
- ・ 復興計画は、「世界に誇れる美しいまちの創造」、「人を育て命と絆を守る創造」、「活力溢れるまちの創造」の3つの基本理念をもとに策定した。地元の用地交渉などの苦労もあるが、財源は全て国の交付金でまかなっている。



復興公営住宅



プレハブの陸前高田市庁舎

④災害対策本部について

- ・ 震災発生とともに災害対策本部を立ち上げ、翌年の3月31日まで設置した。
- ・ 平成26年に新消防防災センターを建設し、市の組織に防災局を設置した。(消防署併設)
- ・ 震災の教訓から、避難マニュアル(家庭用)、避難所運営マニュアル(避難所用)、災害時衝動対応マニュアル(職員用)を作った。災害時初動時対応マニュアルは小

さな冊子にして職員に配布した。

- ・ 災害対策本部は、防災センター内に設置し、本部員として部課長が参集する。
- ・ 地域と市との連携調整役として、市内11地区のコミュニティーセンターに地区本部を設置し、地区本部員として職員を3～5名配置する。業務は地区の情報収集と情報発信を行う。

⑤ JR大船渡線(BRT)について

BRTとは鉄道の軌道を利用して、バス専用道を作り定時で速い運行を可能とするバス高速輸送システムの略。(BRT:バスラピッドトランジット)世界各地で都市部の基幹交通システムとして採用されている一方、日本では導入事例が少なく、福島県内、名古屋市、茨城県などで運行されている。

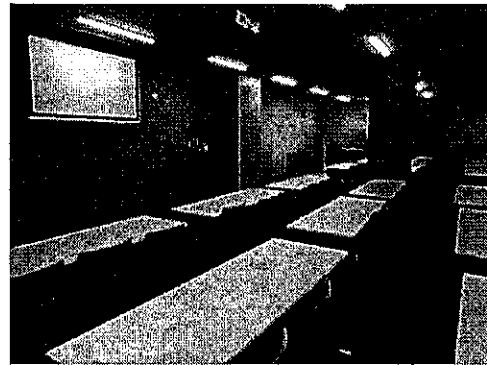
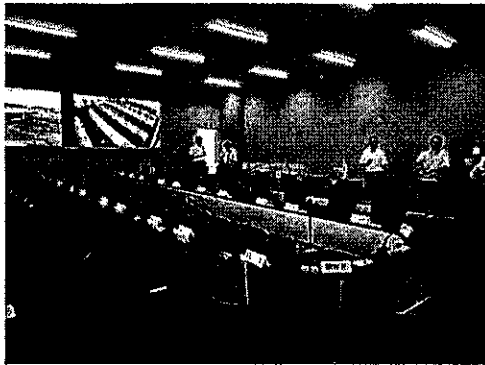
- ・ 震災によりJR大船渡線「気仙沼～盛」間が被災し、線路が完全に流されてしまい、平成24年JR東日本から沿線3市へBRTによる仮復旧の提案があった。平成25年3月仮復旧としてBRTが開業。鉄路による復旧をJRに申し入れたが平成27年12月に沿線3市がBRTによる本格復旧を受け入れた。
- ・ 現状の路線の長さは、「気仙沼～盛」43.6kmであり、陸前高田市内は24.2kmの長さである。運行便数は、旧の鉄道の時より増えて、上り33便、下り35便、一日の平均乗車人数は330人である。多い人数ではないが、少なくなると便数が減ってしまう可能性があるためPRをしていきたい。
- ・ 運賃は鉄道の営業キロに基づく運賃体系を適用のため、路線バスよりも安い。
- ・ 課題は一般道を走行する区間が多いため、バス路線との競合の問題もある。またダイヤ改正が頻繁なため、路線バスとの接続に苦慮している。

平成30年6月29日(金)

◆宮城県 石巻市

①震災復興計画等について

- ・ 震災時、石巻市は震度6強、地盤沈下が牡鹿半島で最大で1.2m、市庁舎も60cm地盤沈下した。牡鹿半島での津波は9mを超え、市街地でも6mを超える津波だった。庁舎周辺は北上川からの津波の水が押し寄せ1.5mの深さまで3日間浸水した。このため初動が遅れた。避難者が5万人、避難所が250箇所開設、秋に避難所から仮設住宅に3万人が入居した。
- ・ 復興公営住宅は、まもなく全て完成予定で復興の姿が見えてきたと感じている。
- ・ 現在も全国の71団体から171名の職員の派遣等をいただいている。
- ・ 被害は牡鹿半島沿岸部が大きかった。人口14万5千人であるが、震災を機に人口減少している。また、被害の大きかった半島住民が内陸部へ移動している。
- ・ まもなく復興公営住宅が全て完成する。市民の暮らしもようやく落ち着きが始まり石巻の復興の姿が見えてきたが、心の復興の時間が掛かるかと感じている。

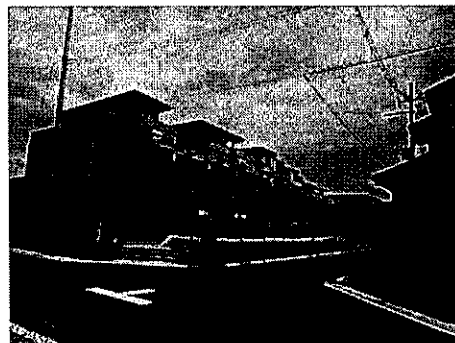


石巻市防災センター内の災害対策本部

- ・ 震災復興基本計画策定の流れは、発災直後の平成23年4月に基本方針を策定し、市民からの意見の把握、有識者懇談会を開催、被災企業からのアンケート、町内会との意見交換を経て、同年8月に基本計画骨子を策定。その後、パブリックコメント等、市民との意見交換を行い12月に石巻市震災復興基本計画を策定した。津波被害のため居住できない区域設定の線引きに苦慮した。
- ・ 防潮堤を設置し、その内側は高さ約4mの高盛土道路により二重防御とした。この間を災害危険区域と設定した。ここに住まいの方は内陸部に住居を移転する必要があるため、移転先を確保した。また学校が災害危険区域にあつた場合は移転させている。小中学校を統合させて整備したところもある。
- ・ 半島沿岸部は平場がないため、高台へ移転をした。また地盤沈下した部分は、団地造成時の残土を利用して嵩上げをした。
- ・ 内陸移転として、新蛇田地区という、大きな区画整理箇所では発災後の都市計画決定を、震災翌年の3月に受けた。これは県内で最も早い区画整理の事業認可であり、地権者の協力が大きく事業認可、着手に速やかに入れた。
- ・ 三陸自動車道のインターチェンジ周辺で、まちづくりが進んでいる中、ここに隣接して内陸移転型の開発を区画整理とあわせて実施している。



日和山公園から北上川河口



新蛇田地区の復興公営住宅

- ・ 被災者の住まいの確保を最優先として取り組んでいる。
- ・ 仮設住宅入居のピーク時は13001戸、平成30年6月では558戸、入居率8.3%まで減

っている。今年度中に全て公営住宅の建設は終わる。市街地整備は昨年度終了しているため住まいの再建については、見通しがついたという状況である。

- ・ 産業の復興として、水産加工団地が営業再開したが人手不足が続いている。
- ・ 観光の復興として、石ノ森章太郎漫画館の再開、大型客船の寄港誘致を行う。
- ・ 震災伝承として、門脇小学校、大川小学校を震災遺構とした。
- ・ 石巻市のエリアで行われている復旧復興事業の総事業費(災害復旧、復興事業、派遣人件費等)は、10年間の計画で1兆2000億円。この10年のうち5年間の集中復興期間は市の負担は無し、6年目からは復興創世期間となり、復興交付金の負担1%となる。インフラ関係整備の交付金は、6年目から2.3%の負担が生じている。整備の進捗率は今年の3月で事業費ベース72%である。
- ・ 市立病院、防災センターを市内の中心部に、また被災の大きかった牡鹿地区、北上地区においても総合支所を中心に商業施設公共施設を集約して拠点を作るという考えで行っている。

平成30年年6月29日(金)

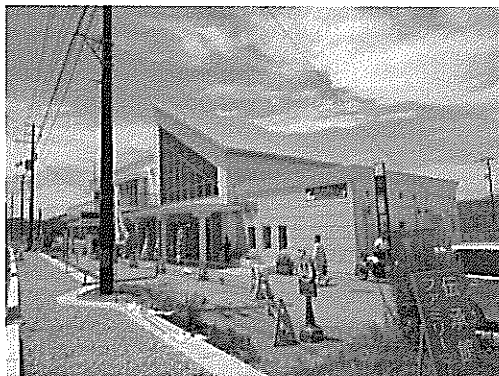
◆宮城県 東松島市(野蒜地区)

東松島市の野蒜地区は、津波により被災したまち全てと、二つの駅舎を含めて高台に集団移転した地区である。

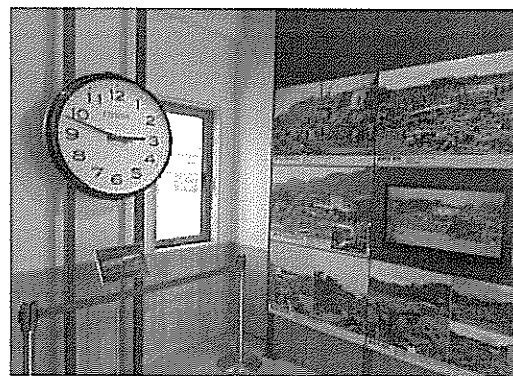
周辺は未だ道路の舗装工事などが行われているが、住宅の再建は見受けられない。

被災したJR仙石線の旧野蒜駅舎は、震災伝承館として利用され、震災遺構として旧野蒜駅プラットホームが当時のまま残っている。

集団移転した高台は、線路沿いに住宅が再建され、二つの駅舎(野蒜駅・東名駅)小学校、消防出張所等が建設されている。



被災したJR仙石線の旧野蒜駅舎
現在は、震災伝承館となっている



震災伝承館内の展示物
震災発災時刻で止まった時計

平成30年年6月29日(金)

◆宮城県 名取市

①災害対策本部立ち上げについて

- ・ 発災後、直ちに災害対策本部を立ち上げた。発災後の数日間、情報収集等の

ため対策本部会議を1日に7回開催した。会議には全ての部課長、自衛隊等が参加し3月中は、直接市長の判断を仰いだ。

- ・ 時間の経過とともに各部署の専門性が出てきて、各部署で検討して対応するようになった。

②罹災証明の発行体制について

- ・ 罹災証明の発行については、人手が足りないため、建築士協会や建築士事務所協会、日本建築家協会の調査協力をいただいた。市職員1名、建築士2名の3名体制の罹災証明の調査隊を8班作った。この取り組みは宮城県で初であった。
- ・ 被災者は、住家について専門家の意見を聞きたい。建築士がいるということで心強かった。
- ・ 罹災証明は4月初旬から受付を開始したが、これは宮城県内で一番早かった。罹災の調査については、あらかじめ被害の大きかった沿岸部では、受け付けを開始する前に事前調査をしたことで、早々対応が可能となった。
- ・ 内閣府による浸水による被害基準は1階の鴨居までの浸水した場合には大規模半壊とするところを、床上1mで大規模半壊とするなどの市民目線に立って名取市独自の判断基準を設けた。

③復興計画策定のための組織づくり

- ・ 発災後の4月13日に、災害復興プロジェクトチームを設置した。内容は生活支援給付、仮設住宅の建設・抽選、震災復興計画を作るなど3つの部署を作った。5月にはこれらを統括する震災復興推進本部を作った。本部長は市長、副市长が副本部長、各部長が委員である。



仙台空港南に位置する名取海岸の堤防

④震災復興計画の策定体制

- ・ 当初はハード整備や災害復旧のため建設部の職員を配置したが、ソフト的な部分も必要のため、企画政策課職員も配置し、最終的には企画政策課が取りまとめた。復興計画はハード整備だけではなく、福祉、産業、教育、地方創生など様々な施策が関係するため、長期総合計画を踏まえた取り組みが必要である。街の再生のためスピード感が必要。

⑤緊急に設置した組織

- ・ 生活給付室、仮設住宅管理室、震災復興室を設置した。震災が3月だったため、3月末で退職する職員を6月まで期間延長してもらった。4月からの新採職員は震災窓口等へ配置した。



関上地区に建設された公営住宅



関上地区 日和山にて説明を受ける

⑥関上地区のまちづくり

- ・ 関上地区は非居住エリアと居住エリアに分け、その境は5mの嵩上げをしたが住民合意がなかなか得られなかった。1/3は関上に戻りたいという方々がいた。
- ・ 被災後に、まちづくり協議会を立ち上げ住民の意見を聞きながら、進めている。メンバーには有志も多く住みたいまちづくりを、自らが企画し進めている。
- ・ 現在は小中一貫校を30年4月に開校した。その他復興公営戸建て住宅、復興公営集合住宅が5棟建設している。この5棟が津波避難ビルとなる。
- ・ 住民からは子育て施設が充実していることが住みたい街の一つである、小中一貫校を開校して欲しい、その周囲は子育て施設を集約して、子供の安全を確保して欲しいとの意見があった。
- ・ 小中学校再建検討委員会を立ち上げ、様々な内容を議論して小中一貫校とし、学区を撤廃してどこからでも通学できるようにした。
- ・ 小中一貫校の周辺には保育所、幼稚園等の子育て施設を配置する予定である。関上地区の中央部には医療福祉施設、老人ホーム、診療所、商業施設を配置し、海に近いエリアは、産業用地として働く場所として計画した。
- ・ 今後、海岸に近い部分には、ゆりあげビーチの整備、サイクルスポーツセンターや、スポーツ振興や市民の交流拠点としてのスポーツエリアとして整備していく。さらに堤防の外側は、ヨットヤードや浮き桟橋、休憩所等を整備する。
- ・ 大きな道路を4本東西に通すことで、交通の便が良くなり仙台中心部へも近くなる。来年の3月には道路整備が終わる予定で、食住近接なまちづくりをしたい。
- ・ 来年には公営住宅、道路、公共施設等が完成するため5月に街開きを行いたい。31年度末には、名取市として復興の達成宣言をしたい。

平成30年年6月30日(土)

◆東京電力福島第一原子力発電所

- ・ 福島第一発電所は350万㎡(約100万坪)の広さである。
- ・ 敷地南側が大熊町、北側が双葉町と二つの町にまたがっている。
- ・ 原子炉5号機、6号機はディーゼルエンジン4基のうち1基が津波の被害を受けなかったため運転でき電源が確保できた。
- ・ 1号機の上部は瓦礫や鉄骨が残っている。今後、瓦礫等を撤去して2023年度に燃料取り出しに着手したい。2号機は爆発しなかったが、1号機と同じく2023年度に燃料取り出しに着手したい。
- ・ 3号機上部には、クレーン等を設置しており、今年の半ば以降に燃料取り出しの作業に着手する予定。
- ・ 4号機は、燃料取り出しが終了している。
- ・ 1～3号機の溶け落ちた燃料は、格納容器内にカメラ等を入れて調査をしている。燃料の取り出しは2021年を目指し作業を進めている。
- ・ 溶け落ちた燃料を冷やすため、現在も水をかけ冷却している。この水は汚染水のため浄化装置を通して循環させ、汚染水が増えないようにしている。しかし、傷んだ建物の部分から地下水が流入して、汚染水が増えてしまう。この余剰の分、貯留用タンクを作らなければならない。貯まった汚染水は浄化装置にて汚染物質の除去をしている。
- ・ 地下水流入による汚染水を減らすため、高台に12本の井戸を掘りくみ上げている。また1～4号機の周り地下30mに氷の壁を作る装置を設置して、流入を減らしている。
- ・ 現場の作業員はピーク時には7000人程度であったが現在は4000人である。

●視察を終えて

復興については、各自治体により考え方や目指す姿が異なるのだと改めて実感しました。特に陸前高田市の取り組みで、100年先を見越してまちづくりの基礎的インフラの整備は進めるが、建物や土地利用については次の世代に託し、じっくり取り組んで欲しいとの市長の考え方は印象に残りました。

その土地、その町の歴史があり人の営みが重ねられ、まち(住宅地や道路)が形成されていたのに対し、津波で大きな被害があったとはいえ、大きくまちを変えないといけない、大きな被害のなかでこの決定を早急にしないでほしい、どれだけの被害が予想され、そのうえで被災後の復興まちづくりのイメージを持っておくこと、それがその後のスピーディな対応にも役立つのではないかと思います。

また福島第一原子力発電所では、廃炉に向けた作業が進められており、この7年の経過が感じられたましたが、帰宅困難区域では、未だ当時の状態のままでありました。帰宅困難区域の指定を解除された区域では、一部の店舗等は再開されていましたが空き家が多く見受けられました。地震津波の被害状況と全く異なり、復興には時間が掛かることを改めて感じました。

掛川市 記者会見資料 No 1-3

北海道豊頃町との互産互消推進に関する協定書締結
～報徳で繋がりのある豊頃町と第1号協定締結へ～市内初 ・ 中東遠初 ・ 県西部初 ・ 県内初 ・ **全国初** ・ **珍しい**

【目的・概要】

市は、互産互消を進める地域商社である「合同会社互産互生機構」と連携し、沖縄県うるま市、京都府京丹後市、北海道十勝地域や豊頃町と地方都市間ネットワークの形成を図り、お互いの地域にない食材や商品の物産交流を拡大してきました。

市と報徳でつながりのある豊頃町でも、本年3月に互産互消を事業目的に含む地域商社「一般社団法人ココロコ」が設立されました。

協定第1弾として、豊頃町と掛川市は、これまでの物産交流にとどまらず、互産互消事業を観光や移住・定住等の人的交流につなげていくため、互産互消推進に関する協定書を締結します。

この協定締結により、それぞれの地域商社や民間企業の活動を活発化させ、モノとヒトの交流を拡大し、地域経済を互いに活性化し合う好循環を目指します。

【アピールポイント】

- ・ 互産互消事業における協定第1号
- ・ 行政間の協定締結で地域商社や民間企業の活動を活発化させる
- ・ 今後も報徳サミットに参加している自治体等と同様な取り組みを続けていく

- | | | |
|---|-------|---|
| 1 | と き | 平成30年7月13日(金) 午前10時00分～10時30分 |
| 2 | と ころ | 豊頃町 える夢館 2階交流室 |
| 3 | 協定締結先 | 北海道中川郡豊頃町 |
| 4 | 出 席 者 | 松井市長、宮口町長、地域商社ほか |
| 5 | 内 容 | 協定書へのサインの取り交わし
閉式後、豊頃町農産物直売所での協定締結物産フェア
豊頃町民を対象にお茶の淹れ方教室、JA豊頃とJA掛川の連携協議
互産互消交流「十勝ゆるゆる自転車旅」 |
| 6 | 資料の添付 | <input checked="" type="checkbox"/> 有 ・ 無 (互産互消推進に関する協定書(案)) |
| 7 | そ の 他 | 協定締結式の写真を提供します。
希望される場合は事前に連絡をお願いします。 |

■本件に関する担当者

農林課農産振興係 赤堀純久・石津誠人(電話 0537-21-1147)

あなたの夢、
描いたつづきは
掛川で。

掛川市と豊頃町との互産互消(生)推進に関する協定書(案)

～抜粋～

「報徳」ゆかりの地である静岡県掛川市(以下「甲」という。)と北海道中川郡豊頃町(以下「乙」という。)は、地産地消(生)を基軸にしつつ、地域間交流により、互いの地域の緯度と気候、地勢や風土の違いを活かすことで、互いの地にはないものを認め合い、求め合い、活かし合うという互産互消(生)を緊密な連携のもとに推進することで、地方と地方とが互いの価値を顕在化させ、新たな地域の魅力を創造し合い、互いに支え合うことで、しなやかに強く持続する地域を形成していくため協定を締結する。

【協定事項】

●目的

甲及び乙が、互産互消(生)によりものと人の交流を拡大し、新たな価値を創造することで、地域経済を互いに活性化し合うという地域活性化の好循環を創ることを目的とする。

●推進事項

- (1) 食の交換(互いの地域の特産品を食卓で使い合うこと)
- (2) 観光の交歓(互いの地域の魅力を通して人が行き交うこと)
- (3) 生活の交感(互いの気候と風土を活かして人が暮らし合うこと)
- (4) 前各号の推進に必要な商圏・生活圏・観光圏などのマーケットの共有及び他地域との互産互消ネットワークの形成
- (5) その他目的を達成するために必要な事項

●有効期間

協定の有効期間は、協定締結の日から3年間とする。ただし、有効期間における推進内容の評価を行い、甲及び乙の合意により更新することができる。

この協定の成立を証するため、本協定書を2通作成し、各自治体記名押印のうえ、各1通を保有するものとする。

平成30年7月13日

甲 静岡県掛川市
掛川市長 松井三郎

乙 北海道中川郡豊頃町
豊頃町長 宮口 孝

平成30年度「ステンドグラス体験講座」 小中高生対象講座を新設

市内初 ・ 中東遠初 ・ 県西部初 ・ 県内初 ・ **全国初** ・ 珍しい

【目的・概要】

子ども達がもっと手軽にステンドグラスの制作体験できるように、一般向けのステンドグラス体験教室に加えて、「小学生コース（半日）」「中高生コース（2日間）」を本年度から新設し、8月から実施します。

また、今年度の体験教室開始に併せ、会場を生涯学習センターから竹の丸に移し、ステンドグラス美術館での鑑賞もセットにします。ステンドグラスの制作体験・鑑賞を通し、子どもたちの感性を育む機会を提供します。

昨年までは、一般向け（中学生以上）の3日間の本格的なステンドグラス体験教室を生涯学習センターで実施していました。

【アピールポイント】

- ・一般向けしかなかった体験教室を拡充し、子ども向けの「小学生コース（半日）」と「中高生コース（2日間）」の2講座を新設しました。
- ・アンティークガラスを使用し、鉛線で組む古典技法によるステンドグラス講座を、子ども向けに実施するのは全国初。
- ・美術館での本物のステンドグラス鑑賞とセットで体験しやすくするため、会場を生涯学習センターから竹の丸に移しました。

（小学生向け講座）

- 1 と き 平成30年8月4日（土）・5日（日） ＊どちらか半日
午前9時～正午
- 2 と ころ 竹の丸（掛川市掛川1200番地の1）
- 3 主 催 掛川市生涯学習振興公社（掛川市ステンドグラス美術館指定管理者）
- 4 参 加 者 小学生 各日12人（予定）×2コース
- 5 参 加 料 1,100円
- 6 駐 車 場 有 ・ 無 （場所）竹の丸
- 7 資料の添付 有 ・ 無

※中・高校生向け、一般向け講座は裏面へ

■本件に関する担当者
文化振興課文化政策係 中村・石川（電話 0537-21-1126）

あなたの夢、
描いたつづきは
掛川で。

(中・高校生向け講座)

- 1 と き 平成 30 年 8 月 4 日(土)・5 日(日) * 2 日間コース
午後 1 時～4 時
- 2 と こ ろ 竹の丸(掛川市掛川 1200 番地の 1)
- 3 主 催 掛川市生涯学習振興公社(掛川市ステンドグラス美術館指定管理者)
- 4 参 加 者 中・高校生 12 人(予定)
- 5 参 加 料 2,200 円
- 6 駐 車 場 有 ・ 無 (場所) 竹の丸
- 7 資料の添付 有 ・ 無

(一般向け講座)

- 1 と き 平成 30 年 7 月 28 日(土)・29 日(日)・30 日(月) * 3 日間コース
午前コース：午前 9 時～正午
午後コース：午後 1 時～4 時
- 2 と こ ろ 竹の丸(掛川市掛川 1200 番地の 1)
- 3 主 催 掛川市生涯学習振興公社(掛川市ステンドグラス美術館指定管理者)
- 4 参 加 者 一般参加者(中学生以上) など 12 人(予定)×2 コース
- 5 参 加 料 一般(高校生以上) 5,500 円
中学生 4,500 円
- 6 駐 車 場 有 ・ 無 (場所) 竹の丸
- 7 資料の添付 有 ・ 無

平成30年度協働によるまちづくり地区集会 各地区のまちづくりについて市民と市長が話し合います

【目的・概要】

市から地域に関する事項について話題提供を行い、各地区での活動内容を発表することで、市と地区の取り組みを広く知らせる機会とします。また、地区の課題や市政全般における意見などについて対話を通じた意見交換を行うことで、協働によるまちづくりの充実と発展を目指します。

【アピールポイント】

・掛川市の広報・広聴の機会として、昭和54年から続いている住民参加型事業。平成28年からは「市民総代会」から「協働のまちづくり」へと名称を変更し、今回の開催は通算40回目となります。

- | | | |
|---|-------|---|
| 1 | と き | 平成30年7月23日(月)～11月22日(木) |
| 2 | と ころ | 地区まちづくり協議会単位の32会場で開催 |
| 3 | 主 催 | 掛川市、掛川市地区まちづくり協議会連合会、掛川市区長会連合会 |
| 4 | 参 加 者 | 市長、地区まちづくり協議会役員、区役員、区内各種団体 ほか |
| 5 | 内 容 | ①開 会
②地元代表あいさつ
③自己紹介（市幹部職員、オブザーバー）
④市長あいさつ及び話題提供
⑤意見交換
・市内共通テーマ「地区まちづくり協議会の地域の発展に向けた取り組みについて」
・地区別テーマ
・皆様からまちづくりへの提案
⑥閉 会 |
| 6 | 駐 車 場 | <input type="checkbox"/> 有 ・ 無 ※駐車スペース確保のため、事前にご連絡ください。 |
| 7 | 資料の添付 | <input type="checkbox"/> 有 ・ 無（資料名）協働によるまちづくり地区集会 開催日程表 |

■本件に関する担当者

生涯学習協働推進課自治活動支援係 宮崎・雪山

（電話 0537-21-1129）

あなたの夢、
描いたつづきは
掛川で。

平成30年度協働によるまちづくり地区集会 開催日程表【開催日順】

平成30年6月13日現在

NO	地区名	月日	曜日	時間	会場
1	西山口	7月23日	月	夜間	東部ふくしあ
2	原泉	8月6日	月	夜間	原泉地域生涯学習センター
3	粟本	8月10日	金	夜間	粟本地域生涯学習センター
4	上内田	8月21日	火	夜間	上内田地域生涯学習センター
5	大坂	8月22日	水	夜間	大東市民交流センター
6	掛川第三	8月28日	火	夜間	中央小地域生涯学習センター
7	倉真	8月29日	水	夜間	倉真地域生涯学習センター
8	原田	9月3日	月	夜間	原田地域生涯学習センター
9	掛川第四	9月6日	木	夜間	城西区公会堂
10	睦浜	9月10日	月	夜間	大東市民交流センター
11	西南郷	9月12日	水	夜間	西南郷地域生涯学習センター
12	掛川第五	9月21日	金	夜間	掛川第五地域生涯学習センター
13	土方	9月26日	水	夜間	大東北公民館
14	南郷	9月28日	金	夜間	南郷地域生涯学習センター
15	大須賀第三	10月3日	水	夜間	大須賀市民交流センター
16	原谷	10月9日	火	夜間	原谷地域生涯学習センター
17	曾我	10月11日	木	夜間	曾我地域生涯学習センター
18	西郷	10月17日	水	夜間	西郷みらい館
19	佐東	10月22日	月	夜間	佐東公民館
20	千浜	10月23日	火	夜間	千浜農村環境改善センター
21	桜木	10月25日	木	夜間	桜木ホール
22	城北	10月26日	金	夜間	城北地区ふれあいセンター
23	和田岡	10月29日	月	夜間	和田岡地域生涯学習センター
24	掛川第一・第二	10月31日	水	夜間	第一小学校体育館
25	日坂	11月1日	木	夜間	J A掛川市日坂支所
26	大須賀第一	11月5日	月	夜間	大須賀支所南館2階
27	中	11月7日	水	夜間	中地区コミュニティ防災センター
28	大淵	11月8日	木	夜間	大淵農村環境改善センター（アイク）
29	葛ヶ丘	11月12日	月	夜間	葛ヶ丘会館
30	東山	11月16日	金	夜間	東山地域生涯学習センター
31	大須賀第二	11月21日	水	夜間	大須賀支所南館2階
32	東山口	11月22日	木	夜間	東山口小学校体育館

【開会】 午後7時

ジモトノシゴト展
地元建築士会の会員による建築のシゴトパネル展

市内初 ・ 中東遠初 ・ 県西部初 ・ 県内初 ・ 全国初 ・ 珍しい

【目的・概要】

6月18日に大阪府北部で発生した地震は、住宅の全壊6棟、半壊57棟、一部損壊2万棟以上（7月2日現在）と、大きな被害をもたらしました。地元の建築士が設計した住宅や施設などの建築パネルを展示することで、建築や耐震などにも関心を高め、考える機会を提供します。併せて、図書館の利用促進を図ります。

【アピールポイント】

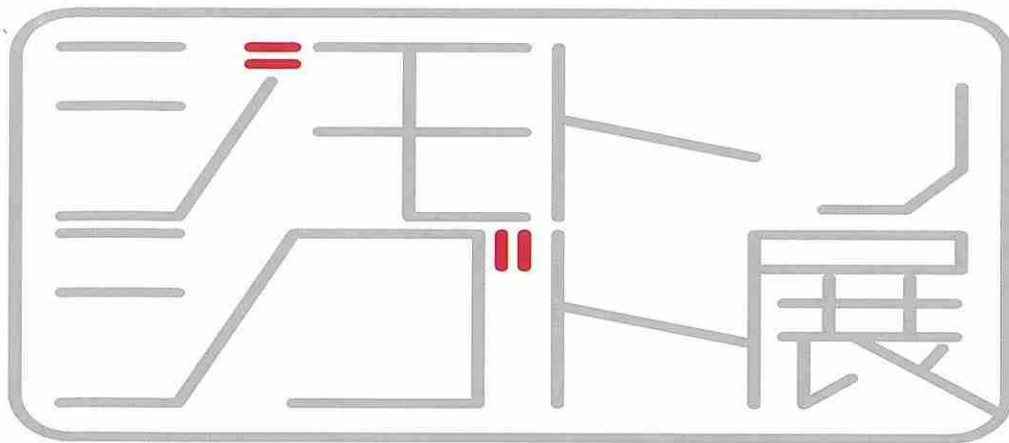
- ・ 地元建築士が設計した住宅や施設等のパネル展示
- ・ 無料建築相談・無料耐震相談を実施。大阪府北部地震で関心が高まる耐震補強工事、耐震構造などの意識啓発を図ります。

- | | | |
|---|-------|--|
| 1 | と き | 中央図書館 平成30年7月24日(火)～8月5日(日) |
| | と ころ | 午前9時～午後5時(水、木は午後7時) 7月27日(金)、月曜休館
大東図書館 平成30年8月8日(水)～8月19日(日)
午前9時～午後5時(木は午後7時)、月曜休館
大須賀図書館 平成30年9月5日(水)～9月16日(日)
午前9時～午後5時(金は午後7時)、月曜休館 |
| 2 | 主 催 | 公益社団法人 静岡県建築士会 |
| 3 | 内 容 | ・ 地元の建築士が設計した施設等のパネルの展示 約20点
・ 無料建築、耐震相談(実施日:中央7月29日(日)、大東8月19日(日)、大須賀9月16日(日) 共に午後1時～3時) |
| 4 | 入 場 料 | 無料 |
| 5 | 駐 車 場 | <input type="checkbox"/> 有 ・ 無 (場所) 中央図書館、大東図書館、大須賀図書館 |
| 6 | 資料の添付 | <input type="checkbox"/> 有 ・ 無 (資料名) ジモトノシゴト展チラシ |

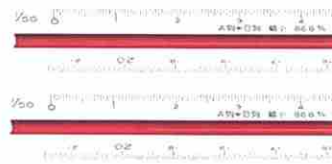
■本件に関する担当者

中央図書館中央図書係 椋葉・後藤 (電話 0537-24-5921)

あなたの夢、
描いたつづきは
掛川で。



地元建築士会の会員による
建築の仕事パネル展
2018 巡回展 vol.4



■第一部

7/24(火)~8/5(日)

掛川市立中央図書館

掛川市掛川1148-1 TEL:0537-24-5921

※開館時間:午前9時から午後5時 水曜木曜は午後7時まで延長 閉館日:月曜日

■第二部

8/8(水)~19(日)

掛川市立大東図書館

掛川市大坂7152 TEL:0537-72-1143

※開館時間:午前9時から午後5時 木曜は午後7時まで延長 閉館日:月曜日

■第三部

8/22(水)~9/2(日)

御前崎市立図書館アスナル

御前崎市池新田5560 TEL:0537-86-8181

※開館時間:午前9時から午後5時 火曜金曜は午後7時まで延長 閉館日:月曜日

■第四部

9/5(水)~16(日)

掛川市立大須賀図書館

掛川市西大淵63-2 TEL:0537-48-5269

※開館時間:午前9時から午後5時 金曜は午後7時まで延長 閉館日:月曜日

無料建築相談

無料耐震相談

7月29日(掛川) 8月19日(大東) 8月26日(御前崎) 9月16日(大須賀)
共に午後1時~3時

住宅計画一般相談、住宅耐震相談、省エネリフォーム相談 等

TOUKAI-0「わが家の専門家診断」の申込み受付も行っていきます。

診断対象は昭和56年5月以前の木造住宅です。既に「わが家の専門家診断」を受けた住宅は対象外です。

お問合せは 森下まで(0537-86-9345)

- | | | |
|-------|------|------------------------|
| 芳野 康広 | 掛川市 | (芳野一級建築士事務所) |
| 高橋 雅志 | 掛川市 | (一級建築士事務所高橋設計事務所) |
| 鈴木 庄一 | 掛川市 | (株)鈴木庄一設計一級建築士事務所) |
| 村松 謙一 | 掛川市 | (さんさい工房一級建築士事務所) |
| 花村 仁史 | 掛川市 | (一級建築士事務所JIN設計) |
| 山下 晋一 | 菊川市 | (一級建築士事務所ころ現代民家研究所(株)) |
| 高地 一晴 | 菊川市 | (有限会社プロット建築設計事務所) |
| 森下 庄治 | 御前崎市 | (森下設計工房一級建築士事務所) |
| 倉田 裕司 | 袋井市 | (倉布人一級建築士事務所) |
| 岸井 紀 | 浜松市 | (一級建築士事務所岸井設計室) |



●共催:掛川市立図書館、公益社団法人 静岡県建築士会 西部ブロック

●協力:掛川市都市政策課、御前崎市都市政策課、菊川市都市計画課

輝くかけがわ応援大使 人間国宝 大角幸枝先生に学ぶ 小学生が「伝統工芸体験教室」で金工体験

市内初・中東遠初・県西部初・県内初・全国初・珍しい

【目的・概要】

我が国で受け継がれてきた伝統工芸について、子どもたちが一流の講師から直接学ぶことにより、豊かな感性を磨き、創造性豊かな人間形成を促す機会とします。

この「伝統工芸体験教室」は、3年目の開催となり、今年度は中小学校と原田小学校の2校で開催します。

7月は、中小学校の児童を対象に、輝くかけがわ応援大使で人間国宝の大角幸枝氏による金工教室（スズの小皿づくり）を開催し、児童の皆さんが超一流の技術を間近で見て体験できる、貴重な機会を提供します。（原田小学校は、別講師で12月11日を予定）

【アピールポイント】

- ・中小学校6年生が、人間国宝の大角幸枝氏から伝統工芸技術を学び、体験します。
- ・大角氏は市内構江区出身。平成28年11月に市民栄誉賞が授与され、平成29年8月には輝くかけがわ応援大使に委嘱されています。
- ・講師を選定は、公益社団法人日本工芸会、公益財団法人岡田茂吉美術文化財団（MOA美術館）の協力によるものです。
- ・完成品は、9月20日～27日に開催の市民芸術祭にて展示します。

- | | | |
|---|-------|--|
| 1 | と き | 平成30年7月26日(木) 午後1時30分～4時 |
| 2 | と ころ | 掛川市立中小学校（図工室） |
| 3 | 主 催 | 掛川市伝統工芸体験教室実行委員会、掛川市 |
| 4 | 参 加 者 | 中小学校6年生 10～15人程度（希望者募集中） |
| 5 | 内 容 | 12センチほどのスズの円板を材料に、小皿づくりに挑戦します。
最初にくぎと金づちで模様を付け、その後は木づちでたたき続け、均等に伸ばしながら自分好みの形に整えていきます。 |
| 6 | そ の 他 | 7月9日(月)に、参加児童向け事前学習会を同校で開催（約1時間）
講師：二の丸美術館 池田恵美子 学芸員 |
| 7 | 駐 車 場 | <input checked="" type="checkbox"/> 有・無（場所：校内駐車場） |
| 8 | 資料の添付 | 有・ <input checked="" type="checkbox"/> 無 |

■本件に関する担当者

文化振興課文化振興係 湯澤・細川（電話 0537-21-1126）

あなたの夢、
描いたつづきは
掛川で。

掛川市 記者会見資料 No.3-4

夏休み親子医学講座「自分の細胞を見てみましょう」
大学の先生が小学生に医学の楽しさを教える毎年人気の講座

市内初 ・ 中東遠初 ・ 県西部初 ・ 県内初 ・ 全国初 ・ 珍しい

【目的・概要】

医学の楽しさを子どもたちに感じてもらおうと、掛川市吉岡彌生記念館が毎年主催している夏休み親子医学講座です。「自分の細胞を見てみましょう」と題し、小学生3～6年生と保護者を対象に募集。本格的な顕微鏡を用いて自分の細胞を観察します。

【アピールポイント】

- ・東京女子医科大学の先生が講師となり、小学生が親子で細胞について学ぶ講座です。
- ・本格的な顕微鏡を小学生に一台ずつ用意し、自分の細胞を観察してもらいます。
- ・小学生は自分の細胞を写真に残し、持ち帰ることができます。
- ・毎年、募集開始後の数時間で申込みいっぱいとなる人気の講座です。

- | | | |
|---|-------|---|
| 1 | と き | 平成30年7月28日(土) 午後1時30分～3時 |
| 2 | と ころ | 東京女子医科大学大東キャンパス(掛川市下土方400-2) |
| 3 | 主 催 | 掛川市吉岡彌生記念館(掛川市教育委員会社会教育課社会教育係) |
| 4 | 参 加 者 | 小学生3～6年生と保護者15組 |
| 5 | 参 加 料 | 無料 |
| 6 | 内 容 | 細胞とは何かを学び、自分の細胞を顕微鏡で観察し、写真に残す。 |
| 7 | 駐 車 場 | <input checked="" type="checkbox"/> 有 ・ 無
(場所：東京女子医科大学大東キャンパス駐車場をご利用ください。) |
| 8 | 資料の添付 | <input checked="" type="checkbox"/> 有 ・ 無 (市内小学校へ配布した募集チラシ) |

■本件に関する担当者

掛川市吉岡彌生記念館(社会教育課) 上原・伊藤
(住所 掛川市下土方474 電話 0537-74-5566)

あなたの夢、
描いたつづきは
掛川で。

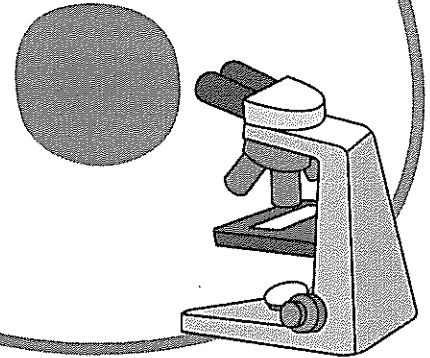
じ ぶ ん さ い ぼ う み
自分の細胞を見てみましょう

私たちの体が「細胞」というものでできているのは知ってますね？
 ひとりの人間は、だいたい37,000,000,000,000個（37兆個）くらいの細胞が集まってできていると言われています。それぞれの細胞は、細胞膜という袋の中に入った細胞質と、さらにその中の袋である「核」でできています。ふつうの細胞は、目には見えないほど小さいけれど、生きています。毎日、3~4千億個くらいの細胞が、新しく作り直されて、古い細胞と入れかわっています。
 この教室で、みなさん自身の細胞を顕微鏡で観察して写真を撮ってみましょう。



7月28日(土)

13:30 ~ 15:00



〈対象〉 小学生3~6年生と保護者
 (15組)

〈参加費〉 無料

こうやま のぶお
 〈講師〉 神山 暢夫 氏
 東京女子医科大学看護学部生理学准教授

〈会場〉
 東京女子医科大学大東キャンパス

〈申込〉 電話でお申込ください (申込順)
 7/7(土) 午前9時より受付開始

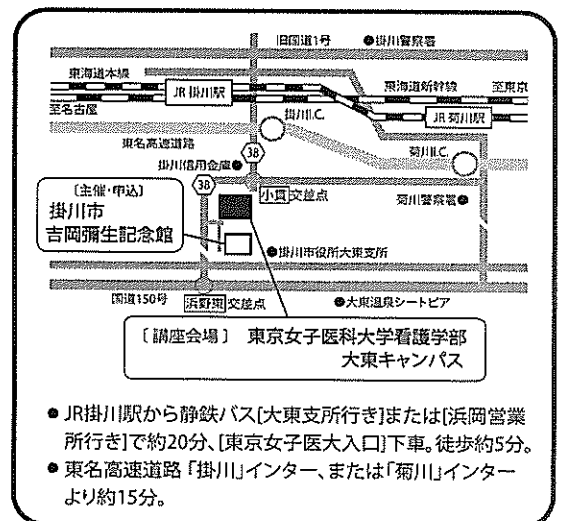
個人情報は本講座受講管理業務及び講座案内のために利用させていただきます。

■ 託児あり(お一人100円/1歳~未就学児) 要予約
 託児希望の方は、講座お申込の際に必ずご予約ください。

〈主催・お申込〉

掛川市吉岡彌生記念館

掛川市下土方 474 TEL 0537-74-5566
 休館日 月曜日・第4火曜日(祝日の場合は開館し翌日休館)



第29回掛川遠州灘”砂の祭典” ビーチフェスタ2018in掛川を開催

市内初 ・ 中東遠初 ・ 県西部初 ・ 県内初 ・ 全国初 ・ 珍しい

【目的・概要】

ビーチスポーツや自然とのふれあいを通し、参加者が自然保護及び環境保全、自身の健康意識について考えるイベントです。

【アピールポイント】

- ・ K-mix人気パーソナリティ高橋正純さんが総合司会を務めます。
- ・ キス釣りメロン大会は、豪華景品のメロン目指して県内外から参加者が訪れます。
- ・ ビーチバレーコートは、県内でも希少な砂地の専用コートです。
- ・ ビーチバレー大会では、最も輝いた女性に地元企業トリンプから素敵なプレゼント。
- ・ 参加者によるビーチクリーンで、海岸の観光保全意識を高めます。

1	と き	平成30年7月29日(日) 午前8時30分～午後3時30分
2	と ころ	ビーチスポーツ公園周辺
3	主 催	掛川みなみ商工会
4	参 加 者	キス釣りメロン大会 150人(予定) ビーチバレー大会 44チーム 450人(予定)
5	内 容	キス釣りメロン大会 午前5時30分～ 開会式・ビーチクリーン 午前8時30分～9時10分 ビーチバレー大会 午前9時30分～午後3時30分 閉会式・お楽しみ抽選会 午後3時30分
6	そ の 他	なし
7	駐 車 場	<input checked="" type="checkbox"/> 有 ・ 無 (ビーチスポーツ公園駐車場を御利用ください)
8	資料の添付	<input checked="" type="checkbox"/> 有 ・ 無 (チラシ:ビーチフェスタ2018)

■本件に関する担当者

掛川みなみ商工会大須賀支所 福與 (電話 0537-48-2262)
観光交流課観光交流係 川添 (電話 0537-21-1121)

あなたの夢、
描いたつづきは
掛川で。

第29回掛川遠州灘 "砂の祭典"

7/29日
8:00~15:30

ビーチフェスタ 2018 in掛川

ビーチバレー大会

自然公園にも指定されている
美しい砂浜を舞台に熱く楽しい
ビーチバレー大会を開催!
白熱のプレーの数々を応援しよう!

一般の部 9:30~15:30

ビーチで最も輝いた女性に今年もトリンプ様
から素敵なプレゼントがあります!



7/29日
タイムスケジュール

8:30~9:10
開会式・ビーチクリーン

9:30~15:30
ビーチバレー
(一般の部) 試合

(一般の部)の受付は、コート北側本部
テントで行います。
代表者は開会式(8:30~)前までに受付
を済ませて下さい。

15:30
閉会式・お楽しみ抽選会

本部テントにて「掛川市 地震・津波対策
のための募金」を受け付けております。

ビーチクリーン

みんなで行う砂浜のビーチクリーンで
キレイな海を守ろう!
この活動を通して
環境保全意識を高めましょう。
持ち物:ゴミ袋(各自ご用意下さい)



キス釣り超メロン大会

早朝より開始される毎年恒例のキス釣り大会。
一人一竿の投げ釣りにより、釣り上げた
シロギスの匹数で順位を競う。

受付 4:15~
開始 5:30~
募集人数
先着 150名

メロンなど
豪華景品を目指して、
毎年大人気の
釣りバトル!

※お問い合わせは
掛川みなみ商工会(本所)まで



みんなビーチフェスタに集まろう!



BEACH FESTA
IN KAKEGAWA



恒例の
K-mixモーニングラジラでお馴染みの
高橋正純さん 参加決定!

熱い1日をさらに盛り上げる総合司会に
人気パーソナリティー高橋正純さんの参加が決定!

会場 掛川市国安大東温泉シートピア東側
ビーチスポーツ公園周辺



主催: 掛川みなみ商工会

お問い合わせ

釣り: TEL 0537-72-2701 (本所)
バレー: TEL 0537-48-2262 (支所)

後援: 掛川市、掛川市教育委員会、静岡新聞社、静岡放送、
中日新聞、(株)郷土新聞、
トリンプ・インターナショナル・ジャパン株式会社トリンプ静岡センター

中東遠総合医療センター 開院5周年を祝い記念式典・講演会開催

市内初 ・ 中東遠初 ・ 県西部初 ・ 県内初 ・ 全国初 ・ 珍しい

【目的・概要】

平成30年5月1日で中東遠総合医療センターが開院5周年を迎えたことから、記念式典を開催し、関係者への感謝の気持ちを伝えます。

第1部は記念式典を開催し、第2部は名古屋大学 総長の松尾清一氏と中東遠総合医療センター企業長兼院長の宮地正彦氏が地域医療をテーマに講演します。

【アピールポイント】

- ・全国初の統合病院であり、国が推し進める地域医療再生、公立病院改革の旗手として、統合から今日までの成果をあらためて振り返ります。
- ・地域住民、医療関係者、関連大学などに感謝の意を伝えるとともに、名古屋大学総長の松尾清一氏による記念講演が行われます。
- ・記念式典では、名倉初代企業長へ名誉院長の称号を授与します。

- | | | |
|---|-------|--|
| 1 | と き | 平成30年8月4日(土) 午前9時30分～午後0時30分 |
| 2 | と ころ | 中東遠総合医療センター 3階大会議室 (掛川市葛蒲ヶ池1-1) |
| 3 | 主 催 | 中東遠総合医療センター |
| 4 | 内 容 | <p>第1部 記念式典 (約1時間)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・挨拶、来賓祝辞 (松井掛川市長、原田袋井市長、鈴木企業団議会議長、名大松尾総長など) ・名誉院長の称号授与 (名倉初代企業長) <p>第2部 講演会 (各20分程度)</p> <ul style="list-style-type: none"> 1) 名古屋大学 総長 松尾清一先生 2) 中東遠総合医療センター 宮地正彦企業長兼院長 |
| 5 | 出 席 者 | <p>150名程度 (うち来賓81名)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大学関係者 (名古屋大学・浜松医科大学・愛知医科大学等)、市民団体、掛川・袋井市関係者、医師会・歯科医師会・薬剤師会など |
| 6 | 駐 車 場 | <input checked="" type="checkbox"/> 有 ・ <input type="checkbox"/> 無 (病院駐車場をご利用ください) |
| 7 | 資料の添付 | 有 ・ <input type="checkbox"/> 無 |

■本件に関する担当者

中東遠総合医療センター経営戦略室

多米尚子・渡邊江里 (電話 0537-28-8920(直通))

あなたの夢、
描いたつづきは
掛川で。

「かけがわ中学生議会」開催 中学生の自由な発想や視点で行政に問う

市内初 ・ 中東遠初 ・ 県西部初 ・ 県内初 ・ 全国初 ・ 珍しい

【目的・概要】

中学生が市長や教育長たちと、将来のまちづくりや教育環境などを議論します。

中学生議会は、中学生の自由な発想や視点で捉えた身近な問題や夢を提言してもらうことで、行政と子どもが相互に理解を深めながら市政を学ぼうと、平成28年度から始まりました。議員役を務めるのは、市内の中学校9校の代表生徒18人。各校から3年生男女1人ずつが選出されています。所属する学校や学級ごとに意見を集約し、質問や意見交換を行います。

平成28年から18歳選挙権が施行されたことから、この活動を通じて政治への関心を持ち、行政や市議会の仕組みを理解するとともに、主体的に政治に参画しようとする意欲を醸成します。

【アピールポイント】

- ・中学生議員の自由な発想や視点から捉えた意見や提案が質問されます。
- ・当日は本会議の様子を市ホームページで生中継します。
- ・できるだけ社会科や総合的な学習の時間の授業と関連づけて質問を考え、代表の生徒だけでなく多くの生徒が議会に関心をもつ機会として捉えるようにします。
- ・政治への関心を高め、主体的に政治に参画しようとする意欲を醸成することが期待できます。

- | | | |
|---|-------|---|
| 1 | と き | 平成30年8月9日(木) 午後1時30分～4時30分閉会(予定) |
| 2 | と ころ | 掛川市議会議場(掛川市役所6階西側) |
| 4 | 参 加 者 | 中学生：市内9校の代表18人(議長1人、副議長1人、議員16人)
行政：市長、教育長、副市長、各部長ほか
議会：全議員 |
| 5 | 内 容 | 進め方は通常の議会と同様。質問は登壇、再質問は自席にて行います。 |
| 6 | そ の 他 | 6月18日学習会開催、7月23日リハーサル予定。 |
| 7 | 駐 車 場 | <input checked="" type="checkbox"/> 有・無(場所：記者クラブ駐車場をご利用ください) |
| 8 | 資料の添付 | 有・ <input checked="" type="checkbox"/> 無 |

■本件に関する担当者

学校教育課指導係 山本・殿岡(電話 0537-21-1156)

あなたの夢、
描いたつづきは
掛川で。

第3回「はばたけ未来の吉岡彌生賞」研究作品募集 次代を担う児童・生徒の夢と希望を育みます

市内初・中東遠初・県西部初・県内初・全国初・珍しい

【目的・概要】

日本の女性医師育成に尽力し、その礎を築いた郷土の偉人、吉岡彌生先生の業績を称え、次代を担う児童・生徒の皆さんによる夢と希望に満ちた研究作品を募集します。

【アピールポイント】

- ・東京女子医科大学・掛川市・掛川市教育委員会の三者が主催となり募集します。
- ・全国から作品を募集します。大学・高校・中学の先生方に審査をお願いし、熱意あふれる作品の中から入賞者を決定します。
- ・入賞者は東京女子医科大学大東キャンパスで表彰されます。副賞もあります。

- 1 募集期間 平成30年7月2日(月)～9月28日(金)
- 2 主催 掛川市、掛川市教育委員会、東京女子医科大学
- 3 後援 一般社団法人至誠会、公益社団法人日本女医会、
一般社団法人小笠医師会、鷲山医院
- 4 募集作品 医療・看護、健康・福祉、理科、環境等に関する研究、論文、製作物
品、実践レポート、意見主張文等
- 5 表彰 入賞者には賞状及び副賞を授与
【最優秀賞】小学生1作品以内、中学生1作品以内、高校生1作品以内
【優秀賞】小学生1作品以内、中学生1作品以内、高校生1作品以内
【奨励賞】小学生5作品以内、中学生5作品以内、高校生5作品以内
※表彰式は、平成31年2月(見込)に東京女子医科大学大東キャンパス
にて開催予定
※副賞は今後様々なものに興味を持ってもらえるよう、タブレット端
末、デジカメ、天体望遠鏡、健康測定器、環境計測器等を用意
- 6 応募方法 応募票(市HP募集記事内からダウンロード 又は チラシの裏面)に記
入の上、作品とともに社会教育課(〒436-8650 静岡県掛川市長谷1-1-1)
へ送付(持参可)
- 7 資料の添付 有 ・ 無 (募集チラシ)

■本件に関する担当者

教育委員会社会教育課 大石(電話 0537-21-1157)
吉岡彌生記念館 上原(電話 0537-74-5566)

あなたの夢、
描いたつづきは
掛川で。



写真：東京女子医科大学 所蔵

日本の女性医師育成に力をつくし

至誠と愛の理念でその礎を築いた

郷土の偉人 吉岡彌生

吉岡 彌生（二八七一年ー一九五九年）

掛川市（旧遠江国城東郡土方村）の高天神城跡東にある鷺山養育家に生まれる。東京女子医科大学の前身である東京女医学校を創設し、女性医師の育成とともに医学の教育及び研究に尽力した。

はばたけ未来の



吉岡彌生賞

募集概要

1 趣旨

日本の女性医師育成に力をつくし、至誠と愛の理念でその礎を築いた郷土の偉人、吉岡彌生先生の業績を称え、次代を担う児童・生徒の皆さんによる夢と希望に満ちた研究作品を募集します。

2 主催者

掛川市、掛川市教育委員会、東京女子医科大学

3 後援

一般社団法人 至誠会、公益社団法人 日本女医会、
一般社団法人 小笠医師会、鷺山医院

4 募集作品

医療・看護、健康・福祉、理科、環境等に関する研究、論文、
製作物品、実践レポート、意見主張文等

5 募集期間

平成 30 年 7 月 2 日（月）～9 月 28 日（金）

6 表彰

入賞者には、賞状及び副賞を授与

表彰内容 ※ 副賞は、タブレット、デジカメ、環境計測器、図書カード等

賞	小学生の部	中学生の部	高校生の部
最優秀賞	1 作品以内	1 作品以内	1 作品以内
優秀賞	1 作品以内	1 作品以内	1 作品以内
奨励賞	5 作品以内	5 作品以内	5 作品以内

（団体受賞の場合は、相当額の図書カード）

7 応募方法

応募票（裏面）に記入の上、作品と共に下記応募先へ送付
又は 持参 ※ 応募票は、掛川市HPにも掲載

8 応募先

〒436-8650 静岡県掛川市長谷一丁目1番地の1
掛川市教育委員会 社会教育課 社会教育係

電話番号 0537-21-1157
E-mail skyoiku@city.kakegawa.shizuoka.jp
掛川市HP <http://www.city.kakegawa.shizuoka.jp/>

※ その他詳細は、HP内の「募集要項」を御参照ください。

